

アナリスト レポート

緩やかに持ち直している

しがぎん
経済文化センター
(産業・市場調査部)

県内景気天気図

景気全体



生産活動



個人消費



民間設備投資



住宅投資



公共投資



雇用情勢



凡例

- ☀️ 晴れ
- ☁️ 晴れ一部曇り
- ☁️ 曇り
- ☁️ 曇り一部雨
- 🌧️ 雨

前月比

- 📈 上昇・好転
- 📉 横ばい
- 📉 下降・悪化

県内景気の動向

現状 県内製造業の生産活動を鉱工業生産指数で見ると、前月に比べ電気・情報通信機械や化学などで上昇したものの、生産用機械がこのところ高水準が続いていた反動で大きく低下したため、全体では2か月連続で低下している。

需要面を各業態の販売額で見ると、百貨店・スーパーは、衣料品が2か月ぶりに低下し、身の回り品が3か月連続で減少しているものの、ウエイトの高い飲食料品が2か月連続で増加したのをはじめ、家庭用品が2か月連続で増加し、家電機器も2か月連続かつ大幅増加したため、全店ベースでは2か月連続の増加となった。また、家電大型専門店が4か月ぶりに減少し、ホームセンターとコンビニエンスストアも2か月ぶりに減少したものの、ドラッグストアが家計の低価格志向の強まりなどから37か月連続で増加している。これらの結果、小売業6業態計の売上高は2か月連続かつ僅かながら増加している。ただし、物価上昇を考慮すると実質個人消費はこのところ弱含みで推移しているとみられる。軽乗用車の販売台数は3か月連続で減少したものの、乗用車の新車登録台数が2か月連続かつ大幅増加したため、3車種合計は2か月連続で増加している。

投資需要では、新設住宅着工戸数が2か月連続で増加したものの、民間設備投資の指標である民間非居住用建築物着工床面積は5か月ぶりに大幅減少し、公共工事の請負金額が2か月連続かつ大幅減少している。また、トラック新車登録台数も3か月連続かつ大幅減少している。

このような中、雇用情勢を見ると、新規求人倍率は2か月連続で上昇、有効求人倍率は前月からほぼ横ばい、就業地別の有効求人倍率は2か月連続

京滋の景気動向

京都府・滋賀県の景気は、緩やかに回復している。

個人消費は、緩やかに持ち直している。観光は、増加している。設備投資は、増加している。住宅投資は、横ばい圏内で推移している。公共

で上昇している。また、常用雇用指数は24か月連続で上昇、製造業の所定外労働時間指数は2か月連続で低下した。

これらの状況をまとめると、製造業の生産活動は、ウエイトの高い化学などが上昇したものの、生産用機械がこのところ高水準で推移していた反動で大幅に低下したため、全体では2か月連続で低下している。需要面では、小売業6業態計の売上高が前年からほぼ横ばいで、物価上昇を考慮した実質個人消費はこのところ弱含みで推移している一方で、自動車販売は2か月連続で増加している。投資需要では、民間設備投資と公共投資が大幅減少しているものの、住宅投資は2か月連続で増加している。したがって、県内景気の現状は、一進一退の動きの中で一部に弱さがみられるものの、基調としては緩やかに持ち直している。

今後の動向 県内製造業の生産活動については、半導体市況の改善や自動車生産の回復などにより、徐々に持ち直していくとみられる。個人消費については、家計の低価格志向の強まりが懸念されるものの、県内でも実質賃金のプラスが続き、所得環境に改善の動きがみられることから、持ち直していくとみられる。投資需要については、企業の人手不足を背景とした省力化・省人化投資、脱炭素に向けた環境対応投資など、将来を見据えた投資の増加が期待される。

したがって、今後の県内景気については、緩やかに持ち直していくとみられる。ただし、トランプ次期米政権の政策を巡り先行きの不透明感が増していることに加えて、急激な為替変動、人手不足による供給制約などの下振れリスクには、引き続き注意する必要がある。

投資は、高水準で推移している。こうした中、生産は、緩やかに持ち直している。また、雇用・所得環境は、緩やかに改善している。

【日本銀行京都支店：「管内金融経済概況」(2024年11月13日発表)より】

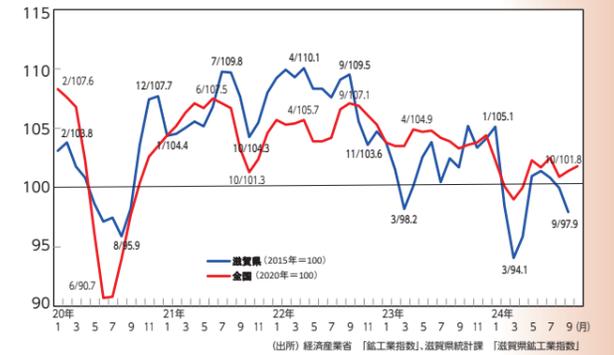
「鉱工業生産指数」の前月比は

2か月連続で低下

- ・鉱工業生産指数(2015年=100)の「原指数」(2024年9月)は92.5、前年同月比▲17.3%となり、2か月連続で大幅低下した。「季節調整済指数」(以下、「季節調整済指数」)は88.7、前月比▲8.9%で、2か月連続で低下し、季節調整済指数の3か月移動平均値(24年9月)も97.9、前月比▲2.1%と、3か月連続で低下している。
- ・業種別季節調整済指数の水準が100の基準を上回ったのは、「化学」(137.9)などの一部業種で、一方、下回ったのは、「電子部品・デバイス」(40.5)、「金属製品」(58.2)、「窯業・土石製品」(63.0)など多数を占めた。
- ・前月に比べ高ウエイトで上昇した業種は、「電気・情報通信機械」(前月比+13.4%)や「化学」(+11.1%)などで、一方、低下したのは、「生産用機械」(同▲58.6%)、半導体・フラットパネルディス

プレイ製造装置)が特に顕著で、2か月連続の大幅低下となっている。

鉱工業生産指数の3か月移動平均値の推移(季節調整済値)



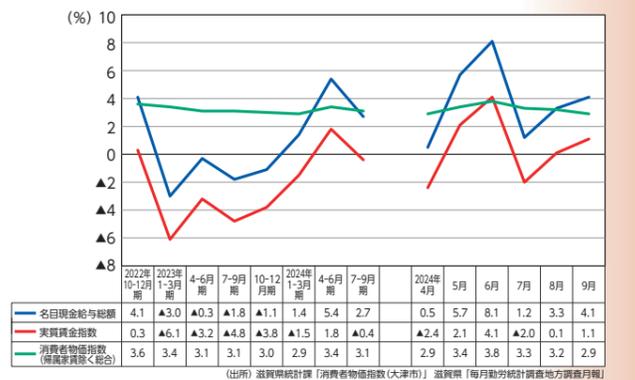
「小売業6業態計売上高」は2か月連続かつ僅かながら

増加するも、実質個人消費は弱含みで推移

- ・消費者物価指数(生鮮食品を除く総合/大津市/2020年=100) (24年10月)は107.2、前年同月比+2.1%、前月比+0.2%となった。前年同月比は36か月連続で上昇している。中分類指数の主な項目をみると、「穀類」(前年同月比+8.3%)、「教養娯楽サービス」(+7.0%)などが上昇し、「乳卵類」(+5.5%)、「通信」(+3.4%)などが低下した。
- ・名目賃金指数(現金給与総額、事業所規模30人以上、2020年=100) (9月)は88.0、同+4.1%と8か月連続の上昇、「実質賃金指数」は81.0、同+1.1%で、2か月連続で上昇している。
- ・百貨店・スーパー販売額(全店ベース=店舗調整前、対象101店舗) (9月)は、21,707百万円、同+1.0%と2か月連続で増加している。品目別では、「衣料品」(前年同月比▲2.6%)が2か月ぶりに減少し、「身の回り品」(同▲6.1%)が3か月連続で減少しているものの、ウエイトの高い「飲食料品」(同+1.3%)が2か月連続で増加しているのをはじめ、「家庭用品」(同+2.3%)が2か月連続で増加し、「家電機器」(同+12.8%)も2か月連続かつ大幅増加している。「既存店ベース(=店舗調整後)」(同+3.1%)は19か月連続で増加している。
- ・大型専門店(全店ベース=店舗調整前)では、「家電大型専門店」(9月/41店舗)が3,461百万円、同▲8.7%と、4か月ぶりに減少し、「ホームセンター」(同/68店舗)が3,013百万円、同▲3.9%で、2か月ぶりに減少したものの、「ドラッグストア」(同/256店舗、前年同月比+1店舗)が9,337百万円、同+5.0%と、家計の低価格志向の強まりなどから37か月連続で増加している。また、「コンビニエンスストア」(同/533店舗)は9,844百万円、同▲1.0%となり、2か月ぶ

りに減少した。
・これらの結果、「小売業6業態計売上高」(9月)は47,362百万円、同+0.2%と、2か月連続かつ僅かながら増加している。ただし、消費者物価上昇分(帰属家賃を除く総合、9月、前年同月比+2.9%)を考慮すると、実質個人消費はこのところ弱含みで推移している。
・「乗用車新車登録台数(登録ナンバー別)」(24年10月)については、「小型乗用車(5、7ナンバー車)」が4か月連続かつ大幅増加し(1,244台、前年同月比+41.5%)、「普通乗用車(3ナンバー車)」も2か月連続で増加したため(2,170台、同+5.8%)、2車種合計では2か月連続かつ大幅増加している(3,414台、同+16.5%)。一方、「軽乗用車」の販売台数は3か月連続で減少している(1,702台、同▲6.1%)。これらの結果、3車種の合計は2か月連続で増加している(5,116台、同+7.9%)。

名目賃金指数と実質賃金指数の推移(事業所規模30人以上、2020年=100、前年同期(月)比)



「新設住宅着工戸数」は

2か月連続で増加

- ・「新設住宅着工戸数」(24年10月)は829戸、前年同月比+3.9%となり、2か月連続で増加している。
- ・利用関係別では、「持家」は362戸、同+12.1%で、6か月ぶりに大幅増加(大津市80戸など)、「貸家」は372戸、同▲7.2%で、5か月ぶりに減少した(大津市100戸、東近江市79戸、彦根市76戸、近江八幡市60戸など)。「分譲住宅」は92戸、同+26.0%で、2か月ぶりの大幅増加となり(大津市24戸など)、うち「一戸建て」は92戸で2か月ぶりに増加(前年差+19戸)、「分譲マンション」は0戸で2か月連続で申請がなかった(前年同月も申請なし)。「給与住宅」は3戸。
- ・新設住宅着工の「床面積」(10月)は66,913㎡、前年同月比+7.9%と、4か月ぶりに増加した。利用関係別では、「持家」は40,753㎡、同+11.3%と、6か月ぶりに大幅増加、「貸家」は15,790㎡、同▲11.0%

と、2か月ぶりに大幅減少、「分譲住宅」は9,818㎡、同+29.7%と、2か月ぶりに大幅増加。

新設住宅着工戸数の伸び率の推移(利用関係別)(前年同期(月)比)

